



令和5年7月20日  
福島県立だて支援学校

## 校長あいさつ

だて支援学校は2年目を迎えます。本校1期生となる高等部7名の卒業生は、それぞれの地域において、本校で学んだことを生かして自分らしく地域の一員として過ごしていることと思います。

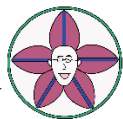
創立の年、昨年度は400人を超える見学者、内覧者の方々がお見えになりました。施設の素晴らしさ、きれいさばかりでなく、そこで元気に笑顔で学ぶ児童生徒や、かかわる教職員についてもお褒めの言葉をたくさんいただきました。

さて、令和5年度は小学部9名、中学部8名、高等部12名の新入生を迎え、小学部15学級・41名、中学部8学級・28名、高等部8学級・36名、計31学級・105名の児童生徒の在籍になります。ひとりひとりの良さを認め合い、ひとりひとりの夢の実現のために教職員一丸となって最大限の力を尽くしてまいります。

始業式、入学式では児童生徒にこのような話をしました。「だて支援学校の学校目標を伝えます。三つあります。頑張っておぼえてください。一つ目「自ら学び、自ら考え、行動する人」、二つ目「相手を思いやり、協力し合える人」、三つ目「健康な心と体を育む人」です。さて、隣の人をみてください。大切な仲間、友達です。特に今年度は相手を思いやり協力していろいろなことに挑戦してほしいと思います。難しいですか？ できそうですか？ 校長先生はみなさんならできると思います。先生方が本気で応援します。」

今年度は校庭が完成し、体育的行事や、文化学芸的な行事も計画しています。企画の段階から、できるだけ児童生徒が参画して、だて支援学校ならではの行事を作り上げたいと考えております。令和5年度も、本校に関わる全ての方々のご期待に応えられますよう、また「地域と共にある学校」となるよう、教職員一同、子どもたちと本気で遊んで、本気で学んで参ります。

福島県立だて支援学校長 本田知史



## 中学部より

6月21日(水)から23日(金)まで中学部修学旅行(東京方面)に行ってきました。1日目は、新幹線や京葉線を利用して移動したり、ディズニーショップでの買い物を楽しんだりしました。2日目は、1日ディズニーランドで過ごしました。訪問学級の生徒も参加し、アトラクションやパレードと一緒に楽しみました。3日目は、バスから東京の築地や皇居を見学しながら移動したり、すみだ水族館で魚を観察したりしました。



## 情報教育部より

昨年度途中から、テレビ、書画カメラ、FireStick が各教室に配置されました。教師や児童生徒のそれぞれのアイデアで少しずつ活用の機会が増え、内容も充実してきました。例えば、制作活動で教師の手元を映したり、児童生徒が資料などを映して発表したりしています。

また、Classroom の利用を始め、教材を配布するなどの活用をしています。行事等の参加が難しい児童生徒に MEET でのオンライン授業も行いました。



## 研修部より

今年度より、学校全体で「資質・能力の育成に向き合う授業づくり～単元研究を通して授業づくりとカリキュラムの充実を図る」をテーマとした校内研究に取り組んでいます。単元を通じた授業づくりを各学部のグループで進める計画です。5月の研修日では研究の視点を確認し、単元で目指す資質・能力とその手立て等について検討しました。教員間での学び合いを通じた授業研究を進めていきます。



(学校だよりは、だて支援学校 HP (<https://date-sh.fcs.ed.jp>) からご覧いただけます。)